

粘液胞子虫 *Unicapsula seriolae* の関与が疑われる集団有症事例—福岡市

○研究期間

令和3年7月から令和3年9月

○検体採取期間

令和3年7月

○研究責任者

保健科学課主任研究員 松永典久

○研究概要

本市で発生した有症苦情事例の原因として、カンパチに寄生した *Unicapsula seriolae* (以下 *U. seriolae*) が疑われました。*U. seriolae* については、カンパチの生食に伴う有症苦情事例において関連性が示唆されていますが、ヒトに対する病原性は不明であり、食中毒の原因物質には指定されていません。科学的知見の蓄積及び適切な検査対応を目的とし、*U. seriolae* を検出した事例の詳細について、論文化して報告を行うもの。

○研究の対象範囲

食中毒行政検査において *U. seriolae* 遺伝子を検出した便提供者の試料・情報

○研究に用いる試料、情報の種類

試料：行政検査で採取された便

情報：検体採取年月、症状、潜伏期間、喫食内容

外部への試料、情報の提供なし

ご提供いただきました検体の分離菌株の情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

○共同研究機関 福岡市早良保健所・東保健所

○研究利用について

上記研究課題に関するご質問等につきましては、下記にご相談ください。

お問い合わせ先

福岡市保健環境研究所 保健科学課

電話番号：092-831-0683

ファクス番号：092-831-0726